アップリカ・チルドレンズプロダクツ合同会社
〒542-0082 大阪市中央区島之内1-13-13
お客様サポートセンター TEL 0120-415-814
携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担） TEL 0570-004-155
受付時間：AM10：00～PM5：00（土、日、祝日、弊社所定休日を除く）

〈お願い〉

○本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がありましたら、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
○製品の品質向上のため予告なしに一部仕様変更する場合もありますのであしからずご了承ください。

14 -09　　14 BE FC HG -01

Aprica その笑顔には、理由がある。

子守帯

コランハグ（本体）

Colanhug

当説明書は本体と合わせてご返却下さい。

Nice Baby（ナイスベビー）
株式会社ベビーリース
〒270-2222 千葉県松戸市高塚新田 158
TEL 047-392-1234

取扱説明書／保証書

首がすわってから体重15 kg までのお子さま1 人用子守帯です。

タテ抱っこ

おんぶ

前向き抱っこ

腰抱っこ

※腰ベルトサイズ：74cm～118cm　。
※体型によって冬場など厚着の時には使用できない場合があります。

このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前に、取扱説明書（本書）をよくお読みのうえ正しくお使いください。
本書に記載されている以外の方法でご使用されると、製品の機能が充分発揮できないだけでなく大変危険です。本書をお読みになった後は、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。

本製品（コランハグ本体）にコランハグ専用新生児シート（別売）を組み合わせた場合のみ新生児からお使いいただけます。

もくじ

ご使用前に
子守帯について …… 1
表示内容について …… 1
使用できるお子さまの月齢について …… 1
安全にお使いいただくために …… 2
ご使用上の注意 …… 3-4
製品を取り出した時に …… 5
バックルの使い方 …… 6
よだれパッドの使い方 …… 6
各部の調節方法 …… 6
おんぶハーネス …… 7
タテ抱っこ〈首がすわってから 体重13kgまで〉
タテ抱っこの準備 …… 8
タテ抱っこの装着方法 …… 8-10
月齢が小さい時 …… 11
おやすみカーテン …… 11-12
おんぶ〈首がすわってから 体重15 kgまで〉
おんぶの装着方法 …… 13-15
タテ抱っこからおんぶへ …… 15-17
おやすみカーテン …… 18
月齢が小さい時 …… 19
おんぶの降ろし方 …… 19
前向き抱っこ〈ひとり座りができてから 体重13kgまで〉
前向き抱っこの装着方法 …… 20-22
前向き抱っこの降ろし方 …… 22
腰抱っこ〈ひとり座りができてから 体重15kgまで〉
腰抱っこの装着方法 …… 23-25
その他
本体の折りたたみ方 …… 26
Q&A …… 27-28
点検について …… 29
お手入れについて …… 29
SGマーク制度について …… 30
保証とアフターサービスについて …… 31
MEMO …… 32
保証書 …… 34

子守帯について

○この製品は、お子さまを抱っこやおんぶして、外気浴、買い物の時などに使用するための1人用子守帯です。
ご使用の前に5ページ「各部の名称」をご確認ください。

表示内容について

○「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表　示	表　示　の　内　容
⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

表　示	表　示　の　内　容
⃠	製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止しています。

使用できるお子さまの月齢について

○お子さまの発育は個人差がありますので月齢表示は目安にしてください。

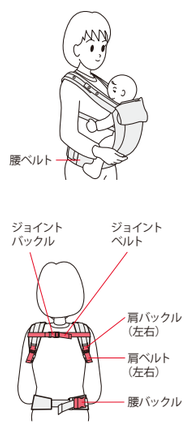
参考月齢	0カ月　首すわり（4カ月頃）　ひとり座り（7カ月頃）　24カ月頃　36カ月頃	体　重
タテ抱っこ	首がすわってから（24カ月頃まで）	13kgまで
前向き抱っこ	ひとり座りができてから（24カ月頃まで）	13kgまで
腰抱っこ	ひとり座りができてから（36カ月頃まで）	15kgまで
おんぶ	首がすわってから（36カ月頃まで）	15kgまで

※お子さまの衣類の厚みや体格によっては使用できない場合があります。

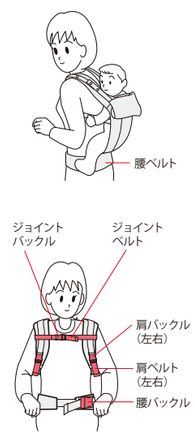
安全にお使いいただくために

○タテ抱っこ、おんぶ、前向き抱っこ、腰抱っこでご使用の際は、バックルを必ずとめてください。
○ベルトの長さを装着者の身体にあわせて、きつめに調節してください。
○脚部を露出したお子さまに使用された場合、肌に子守帯の跡がついたり、稀に肌がこすれて赤くなることがあります。その場合は、肌の露出部を覆う服を着せるか、露出部にタオルなどを当てて、子守帯に直接触れないようにしてください。

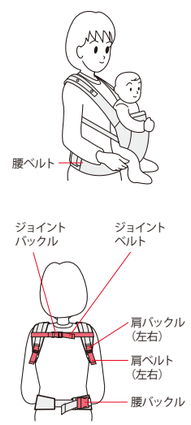
タテ抱っこ



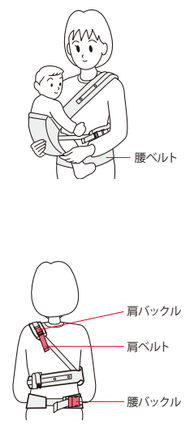
おんぶ



前向き抱っこ



腰抱っこ



⚠警告
○肩バックル、腰バックル、ジョイントバックルを外した状態で使用しない。
お子さまが落下し、けがをするおそれがあります。
○ベルトの長さを装着者の身体にあわせてきつめに調節してください。
お子さまと装着者の間にすき間がありすぎると、お子さまの予期せぬ動きに対応できず落下し、思わぬ事故やけがをするおそれがあります。

ご使用上の注意

○ここに記載した内容は非常に重要です。よくお読みになり、必ず守ってください。

⚠警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

肩バックル、腰バックル、ジョイントバックルを外した状態で使用しない。 お子さまが落下し、けがをするおそれがあります。	肩ベルト、腰ベルト、ジョイントベルトは必ず調節し、緩めた状態で使用しない。 お子さまが落下し、けがをするおそれがあります。	走ったり、跳んだり、前かがみなどの無理な姿勢をとらない。 お子さまが落下し、けがをするおそれがあります。	首のすわらない、お子さまに使用しない。 お子さまが体調を損なうおそれがあります。
タテ抱っこ、前向き抱っこでは、体重13 kgを超えるお子さまに使用しない。 お子さまが落下し、けがをするおそれがあります。	おんぶ、腰抱っこでは、体重15kg を超えるお子さまに使用しない。 お子さまが落下し、けがをするおそれがあります。	ポケットには、とがったものを入れない。 お子さまが、けがをするおそれがあります。	連続2時間以上または、授乳後30分以内は使用しない。 お子さま、使用者が体調を損なうおそれがあります。

⚠警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

ベルトの先端の返し縫い部をほどいたり、切り落とした後に使用しない。 お子さまが落下し、けがをするおそれがあります。	バックルなどの部品が破損したり、ベルトや生地などに破れ、ほつれ、きずがある状態では使用しない。 お子さまが落下し、けがをするおそれがあります。	飛行機、車、自転車、バイクでは使用しない。	お子さまの状態に注意しながら使用する。 気道がふさがると窒息するおそれがあります。

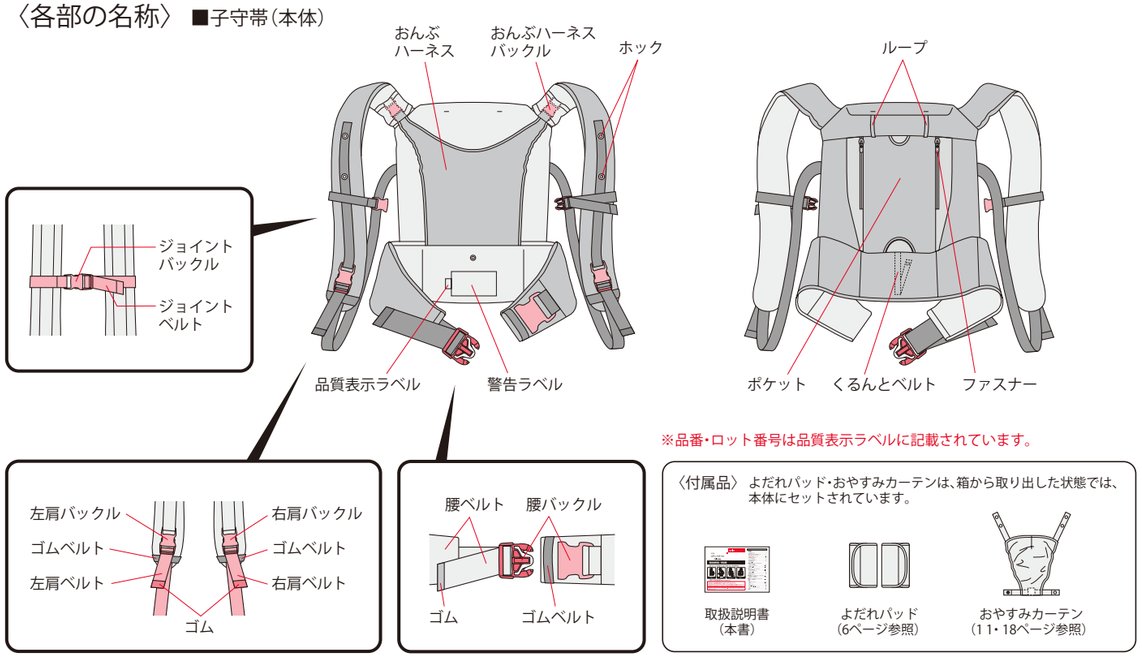
⚠注意 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

バックルは使用していない時も外したままにしない。	タテ抱っこでは足元が見えにくくなる場合がありますので歩行には充分注意してください。	暖房器具の近くなど高温になる場所に放置しない。	直射日光のあたる場所に保管しない。変色や劣化が早まります。	その他、荷物などの運搬や、お子さまを抱っこ、おんぶする以外の目的での使用。

製品を取り出した時に

○製品を取り出した後は、部品が揃っているか、破損がないかを確認してください。
○欠品や破損の際は、弊社お客様サポートセンターまでですみやかにご連絡ください。

〈各部の名称〉 ■子守帯（本体）



※品番・ロット番号は品質表示ラベルに記載されています。

〈付属品〉 よだれパッド・おやすみカーテンは、箱から取り出した状態では、本体にセットされています。

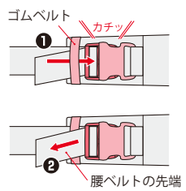
取扱説明書（本書）　よだれパッド（6ページ参照）　おやすみカーテン（11・18ページ参照）

バックルの使い方

〈腰バックル・肩バックル〉

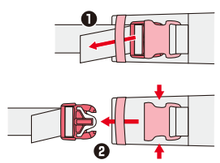
とめ方

❶腰バックルをゴムベルトに通し、腰バックルをとめる。
❷腰ベルトの先端をゴムベルトの上側に引き出す。



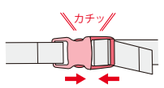
外し方

❶腰ベルトの先端をゴムベルトに通す。
❷腰バックルを外し、腰バックルをゴムベルトから抜き取る。

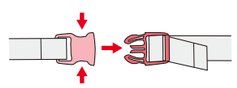


〈ジョイントバックル〉

とめ方



外し方



よだれパッドの使い方

●肩ベルトに巻き付け、面ファスナーでとめる。

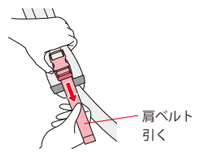
（折り返しが、お子さまの顔の外側に向くようにする。）

ベルトの調節方法

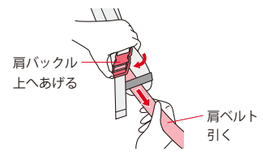
⚠警告 ○ベルトの長さを装着者の身体にあわせてきつめに調節してください。
お子さまと装着者の間にすき間がありすぎたり、左右のベルトの長さが違うと、お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下し思わぬ事故やけがをするおそれがあります。

〈肩ベルト〉

短くする時

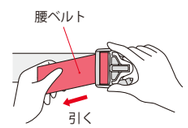


長くする時

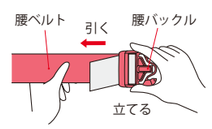


〈腰ベルト〉

短くする時

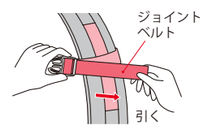


長くする時

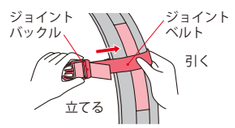


〈ジョイントベルト〉

短くする時



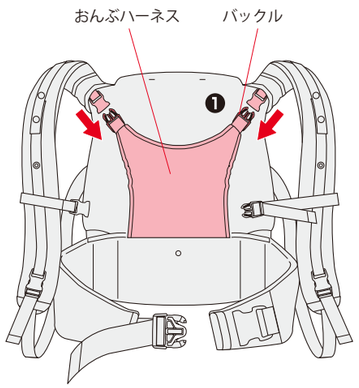
長くする時



おんぶハーネス

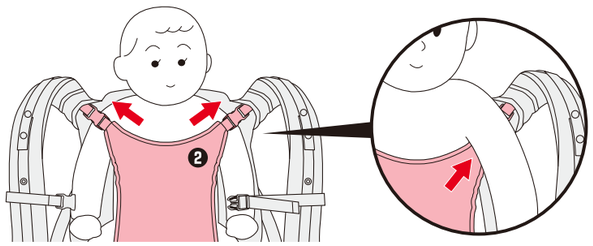
○腰すわり前のお子さまをおんぶする際や（13ページ参照）、「タテ抱っこからおんぶへ」の切り替えの際に（15ページ参照）、おんぶハーネスを使用すると、お子さまがより安定します。

❶おんぶハーネスのバックルを外す。



❷お子さまを乗せて、おんぶハーネスのバックルをとめる。

アドバイス ○お子さまの成長に合わせて、おんぶハーネスのバックルを腕の上から又は、腕の下からとめる。

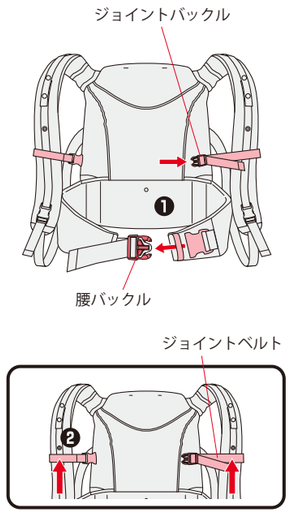


〈腕の上から〉　〈腕の下から〉

タテ抱っこの準備

❶腰バックルとジョイントバックルを外す。
❷ジョイントベルトを上にずらす。

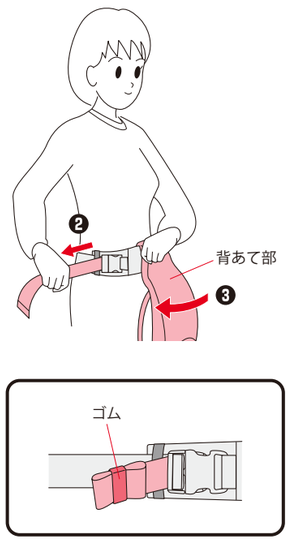
アドバイス
○ジョイントベルトを上にずらすと、後で（9ページ❻）首の後ろでジョイントバックルがとめやすくなります。



タテ抱っこの装着方法 （つづく）

❶腰バックルをゴムベルトに通して、とめる。

❷腰ベルトを調節し、あまったベルトをゴムでまとめる。
❸背あて部を正面にする。



タテ抱っこの装着方法（つづき）

❹お子さまを抱き上げ、本体に乗せる。

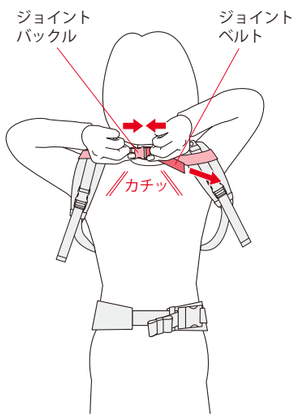
アドバイス
○小さいお子さまの場合、おんぶハーネスを使用すると、より安定してお子さまを抱っこできます。（7ページ参照）

⚠警告 ○お子さまを乗せる時は、必ず安全な場所で行う。
不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。

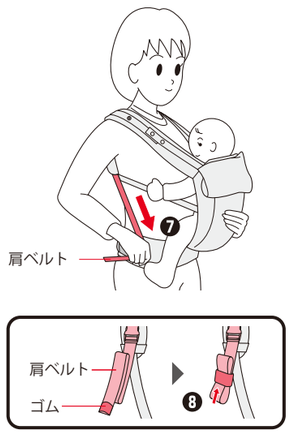
❺左右の肩ベルトをかける。

アドバイス
○お子さまの腕は、肩ベルトの外側でも内側でも構いません。ただし外側に出している時に、お子さまが反り返る場合は、肩ベルトの内側に腕を入れてください。

❻首の後ろでジョイントバックルをとめ、ジョイントベルトを調節する。



❼左右の肩ベルトを調節し、お子さまの位置を調える。
❽ベルトをゴムでまとめる。



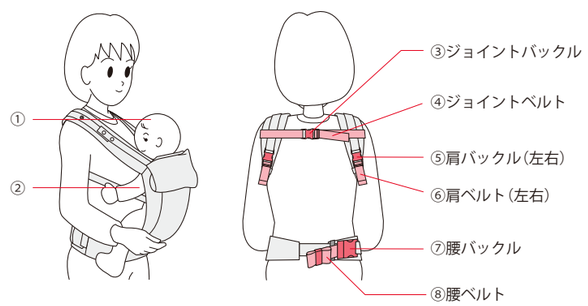
アドバイス
○肩や腰に負担がかかる場合は肩ベルト、腰ベルトを調節しなおしてください。

⚠警告 ○お子さまを乗せる時は、必ず安全な場所で行う。
不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。

❾鏡に映して、抱っこの状態を確認してください。
※正しくできていない場合は、もう一度取り付け、調節を行ってください。

タテ抱っこの確認

①お子さまの頭部が装着者の視界の妨げにならない
②お子さまの両腕が出ている
③ジョイントバックルが確実にとまっている
④ジョイントベルトを調節している
⑤肩バックルが確実にとまっている
⑥肩ベルトを調節している
⑦腰バックルが確実にとまっている
⑧腰ベルトを調節している

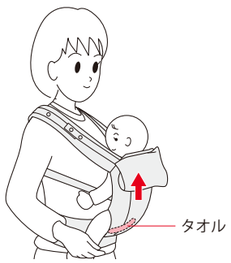


⚠警告 ○鏡に映して、抱っこの状態を確認してください。
正しく装着されていないと、お子さまが落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。

月齢が小さい時

○お子さまの月齢が小さいうちは、腰ベルトを高い位置でとめると、より安定します。

○お子さまのお尻の下にタオルを入れ、高さを調節してください。



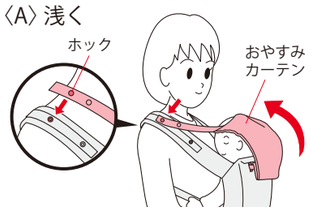
おやすみカーテン

○お子さまが寝た時などに使用すると首が安定します。
○風よけや日差しよけにもなります。

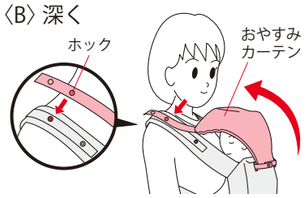
〈調節方法〉

●お子さまの成長に合わせて〈A〉浅く、〈B〉深く、どちらかで調節してください。

〈A〉浅く

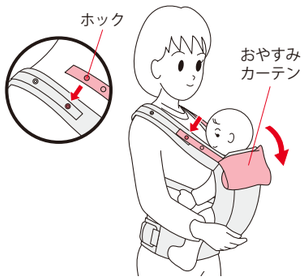


〈B〉深く



〈使用しない時〉

●ホック位置を下げて付け、おやすみカーテンを二つ折りにする。

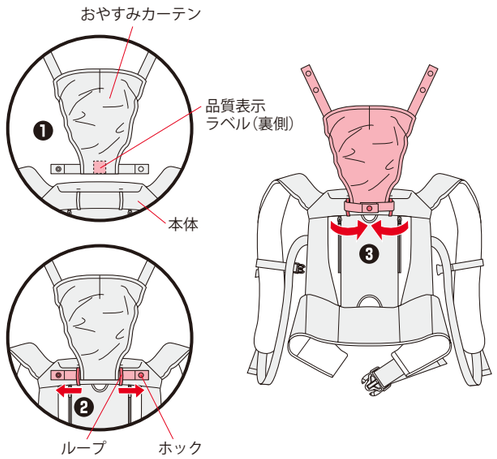


⚠警告 ○おやすみカーテンを使用する際は、特にお子さまの様子に注意してください。
気道がふさがると窒息するおそれがあります。

⚠注意 ○お子さまが眠って後ろに反り返る場合は使用を中止してください。

〈取り付け方〉

❶おやすみカーテンの品質表示ラベルを本体側に向ける。
❷ホックをループに通す。(左右)
❸ループに通したホックをとめる。

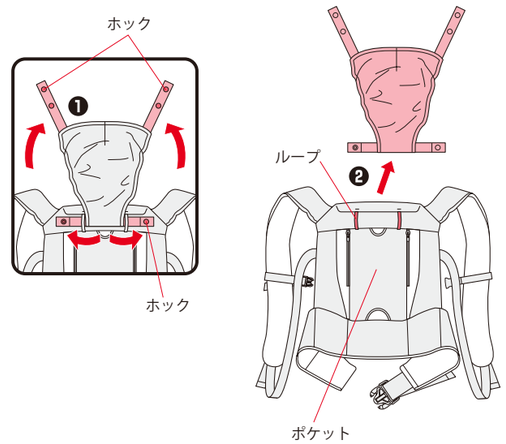


アドバイス

○調節方法および使用しない時は、11ページを参照してください。

〈取り外し方〉

❶おやすみカーテンのホックを全て外す。(3カ所)
❷ホックをループから抜き取り、おやすみカーテンを取り外す。



アドバイス

○取り外したおやすみカーテンを収納する場合はポケットに収納してください。

おんぶの装着方法

(つづく)

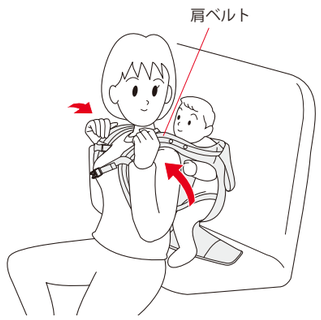
❶腰バックルとジョイントバックルを外す。
❷お子さまを乗せて、おんぶハーネスのバックルをとめる。

アドバイス

○お子さまの成長に合わせて、おんぶハーネスのバックルを腕の上から又は、腕の下からとめる。
○おんぶハーネスを使用すると、より安定してお子さまをおんぶできます。

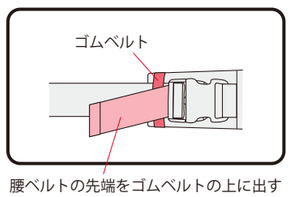
⚠警告 ○お子さまを乗せる時は、必ず安全な場所で行う。
特に、ひとり座りができる前のお子さまをおんぶする際には他の人に手伝ってもらうとより安全です。
不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。

❸左右の肩ベルトをかける。



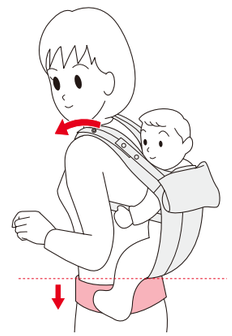
⚠警告 ○お子さまの状態に注意しながら使用する。
気道がふさがると窒息するおそれがあります。

❹前かがみの体勢でお子さまを背負い、腰バックルをゴムベルトに通し、とめる。



⚠注意 ○お子さまの足が腰ベルトと装着者の間に挟まらないように注意してください。

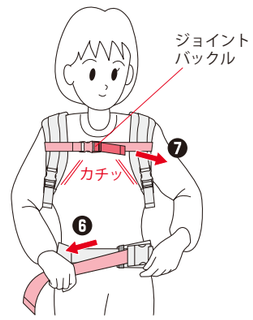
❺お子さまのお尻の位置が腰ベルトより高くなるように調節する。
(左右の肩ベルトを調節したり、腰ベルトの位置を下げる。)

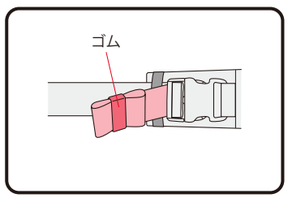


アドバイス

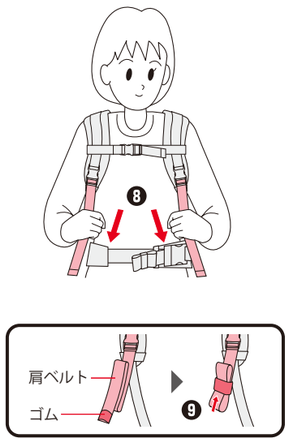
○お子さまが装着者の腰に安定する位置にする。

❻腰ベルトを調節して、あまったベルトをゴムでまとめる。
❼ジョイントバックルをとめ、ジョイントベルトを調節する。





❽左右の肩ベルトを調節する。
❾ベルトをゴムでまとめる。



アドバイス

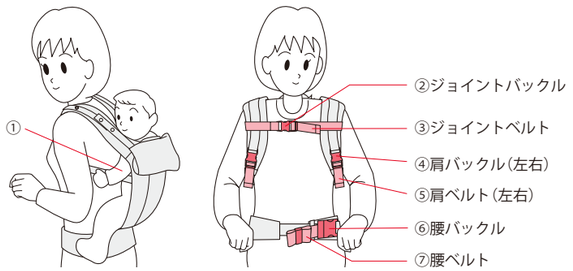
○肩や腰に負担がかかる場合は肩ベルト、腰ベルトを調節しなおしてください。

おんぶの装着方法（つづき）

❿鏡に映して、おんぶの状態を確認してください。
※正しくできていない場合は、もう一度取り付け、調節を行ってください。

おんぶの確認

①お子さまの両腕が出ている
②ジョイントバックルが確実にとまっている
③ジョイントベルトを調節している
④肩バックルが確実にとまっている
⑤肩ベルトを調節している
⑥腰バックルが確実にとまっている
⑦腰ベルトを調節している

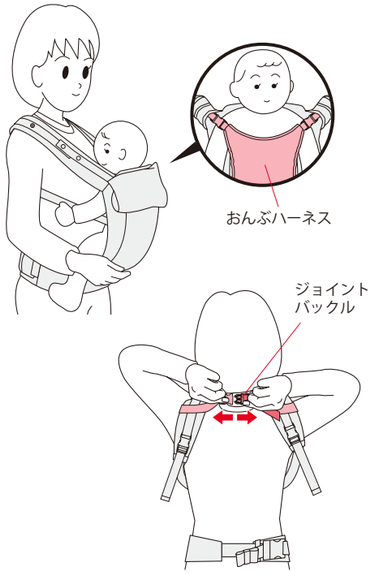


⚠警告 ○鏡に映して、おんぶの状態を確認してください。
正しく装着されていないと、お子さまが落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。

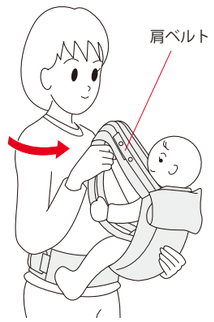
⚠注意 ○装着者が痛みや不快を感じた場合は使用を中止してください。特に、授乳期のお母さまは、乳房を圧迫するおそれがあります。

タテ抱っこからおんぶへ（つづく）

○タテ抱っこ時、おんぶハーネスを使用している場合に限り可能です。
❶タテ抱っこの状態でジョイントバックルを外す。

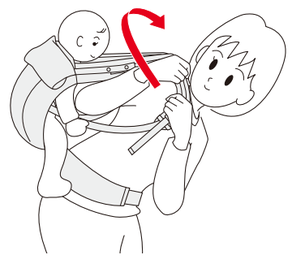


❷左右の肩ベルトを肩から外し、まとめる。



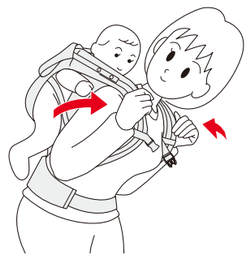
⚠警告 ○抱っこからおんぶへ変える時は、必ず安全な場所で行う。他の人に手伝ってもらうとより安全です。
不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。

❸肩ベルトをしっかり持ち、前かがみの姿勢になり、お子さまを支えて背中側にまわす。



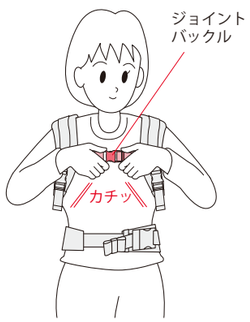
⚠警告 ○お子さまの状態に注意しながら使用する。
気道がふさがると窒息するおそれがあります。

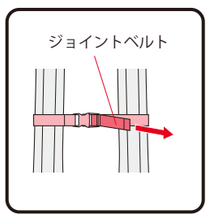
❹左右の肩ベルトをかける。



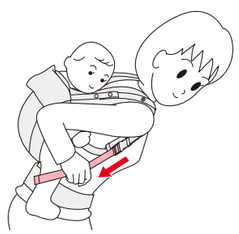
タテ抱っこからおんぶへ（つづき）

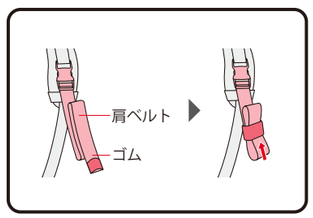
❺ジョイントバックルをとめ、ジョイントベルトを調節する。





❻左右の肩ベルトを調節し、あまったベルトをゴムでまとめる。





❼鏡などに姿を映して、おんぶの状態を確認してください。（15ページ参照）
正しくできていない場合は、もう一度取り付け、調節を行ってください。

アドバイス
○肩や腰に負担がかかる場合は肩ベルト、腰ベルトを調節しなおしてください。

⚠警告 ○正しく装着されていないと、お子さまが落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。

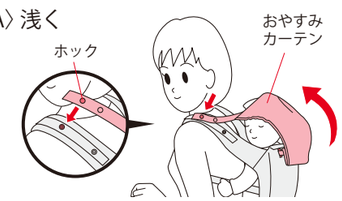
おやすみカーテン

○お子さまが寝た時などに使用すると首が安定します。
○風よけや日差しよけにもなります。
○おやすみカーテンの取り付け方、取り外し方は、12ページを参照してください。

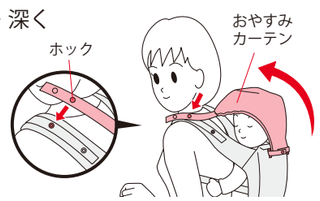
〈調節方法〉

●お子さまの成長に合わせて〈A〉浅く、〈B〉深く、どちらかで調節してください。

〈A〉浅く



〈B〉深く

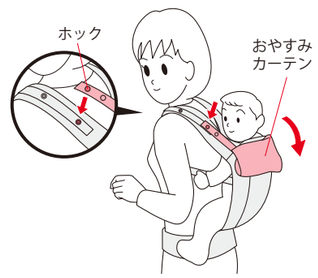


アドバイス
○鏡などに姿を映して、おやすみカーテンがお子さまの頭を覆っていることを確認してください。
正しくできていない場合は、もう一度調節しなおしてください。

⚠警告 ○おやすみカーテンを使用する際は、特にお子さまの様子に注意してください。
気道がふさがると窒息するおそれがあります。

〈使用しない時〉

●ホック位置を下げて付け、おやすみカーテンを二つ折りにする。

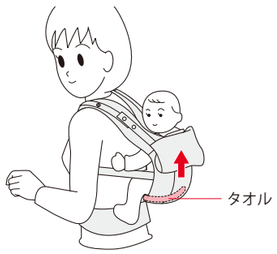


⚠注意 ○お子さまが眠って後ろに反り返る場合はおんぶの使用を中止してください。

月齢が小さい時

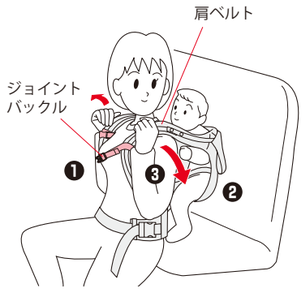
○お子さまの月齢が小さいうちは、腰ベルトを高い位置でとめると、より安定します。

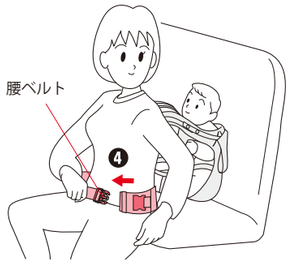
○お子さまのお尻の下にタオルを入れ、高さを調節してください。

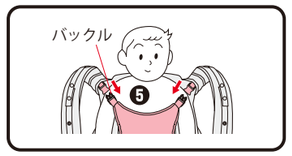


おんぶの降ろし方

❶ジョイントバックルを外す。
❷お子さまをゆっくり降ろす。
❸肩ベルトを外す。
❹腰ベルトを外す。
❺おんぶハーネスのバックルを外す。







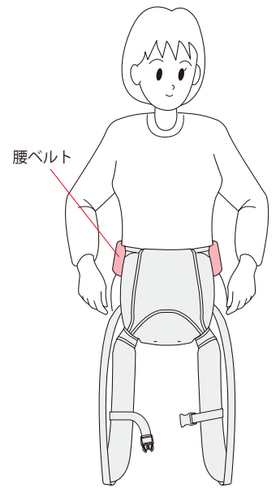
アドバイス

○イスが無い場合は、おんぶからタテ抱っこに戻して（17ページ ❺→16ページ ❹→❸→❷参照）、安全な場所にお子さまを降ろしてください。

⚠警告 ○お子さまを降ろす時は、必ず安全な場所で行う。他の人に手伝ってもらうとより安全です。
不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。

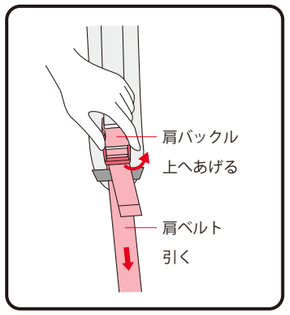
前向き抱っこの装着方法（つづく）

❶おやすみカーテンを外す。（12ページ参照）
❷8ページ「タテ抱っこの装着方法❶～❸」を参照して腰ベルトをとめる。



❸肩ベルトを長めに調節する。

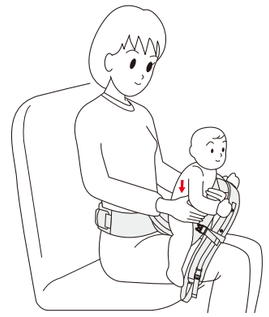
〈長くする時〉



アドバイス

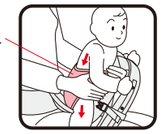
○肩ベルトを長めに調節すると、お子さまをのせやすくなります。

❹お子さまの体を前向きに子守帯にのせる。



アドバイス

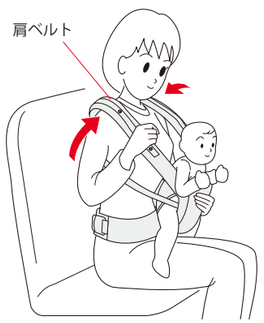
○おんぶハーネスを使用すると、より安定してお子さまを抱っこできます。（7ページ参照）



⚠警告 ○お子さまを乗せる時は、必ず安全な場所で行う。
不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。

前向き抱っこの装着方法（つづき）

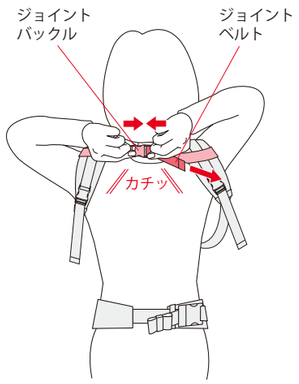
❺左右の肩ベルトを両肩にかける。



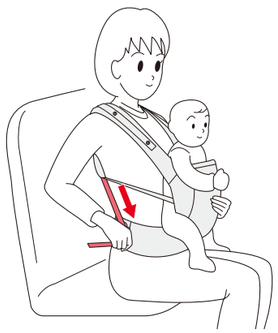
アドバイス

○お子さまの腕は肩ベルトの外側でも内側でも構いません。ただし外側に出している時に、お子さまが前のめりになる場合は、肩ベルトの内側に腕を入れてください。

❻首の後ろでジョイントバックルをとめ、ジョイントベルトを調節する。



❼肩ベルトを調節する。



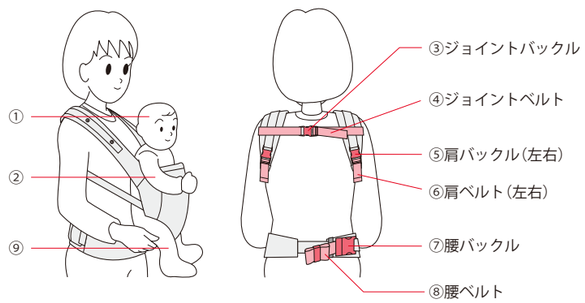
アドバイス

○肩や腰に負担がかかる場合は肩ベルト、腰ベルトを調節しなおしてください。
○前向き抱っこの使用は30分程度を目安としてください。

❽鏡に映して、抱っこの状態を確認してください。
※正しくできていない場合は、もう一度取り付け、調節を行ってください。

前向き抱っこの確認

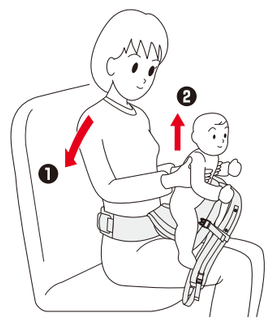
①お子さまの頭部が装着者の視界の妨げにならない
②お子さまの両腕が出ている
③ジョイントバックルが確実にとまっている
④ジョイントベルトを調節している
⑤肩バックルが確実にとまっている
⑥肩ベルトを調節している
⑦腰バックルが確実にとまっている
⑧腰ベルトを調節している
⑨お子さまが足を自由に曲げることができる



⚠警告 ○鏡に映して、前向き抱っこの状態を確認してください。
正しく装着されていないと、お子さまが落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。

前向き抱っこの降ろし方

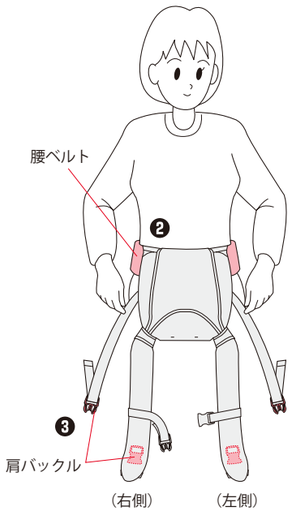
❶安全な場所に座り、ジョイントバックルを外し、肩ベルトを外す。
❷お子さまを降ろす。



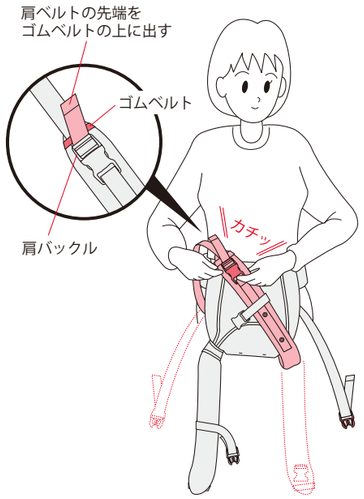
⚠警告 ○お子さまを降ろす時は、必ず安全な場所で行う。
不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。

腰抱っこの装着方法（右抱っこ、左抱っこ、どちらでも使用できます。ここでは、右抱っこで説明しています。）（つづく）

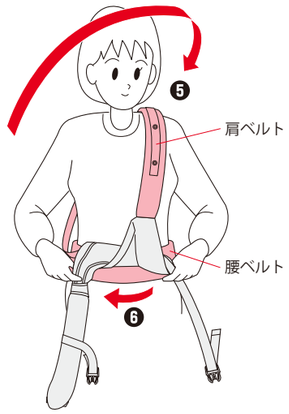
❶おやすみカーテンを外す。（12ページ参照）
❷8ページ「タテ抱っこの装着方法❶〜❸」を参照して腰ベルトをとめる。
❸左右の肩バックルを外す。



❹右側の肩バックルを左側の肩バックルにあるゴムベルトに通し、バックルをとめる。

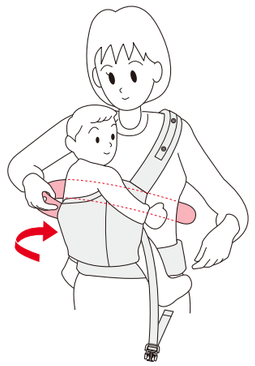


❺右腕と頭を通し、肩ベルトをななめにかける。
❻腰ベルトを右側にまわす。

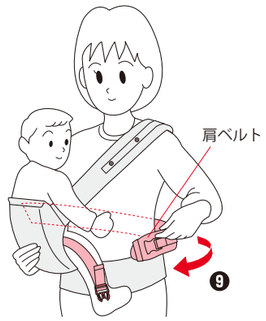


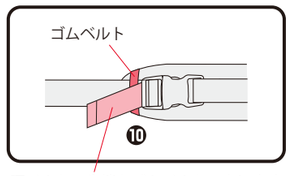
❼お子さまを抱き上げて、子守帯に乗せる。

❽背中側から右側の肩ベルトを腰にまわす。



❾腰にまわした肩ベルトを左側から出す。
❿肩バックルをゴムベルトに通し、バックルをとめる。

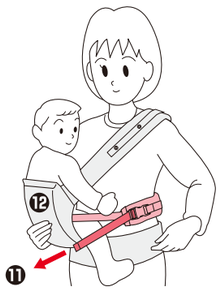


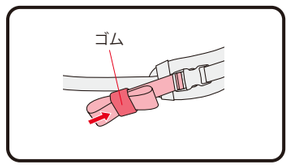


腰ベルトの先端をゴムベルトの上に出す

腰抱っこの装着方法（つづき）

⓫肩ベルトを調節し、あまったベルトをゴムベルトでまとめる。
⓬お子さまの位置を調える。



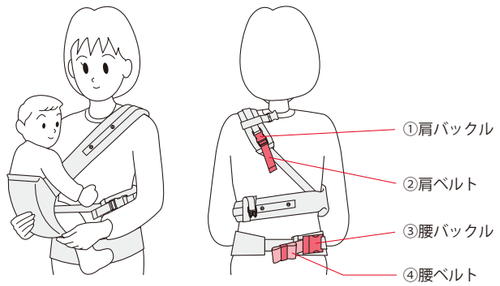


アドバイス
○肩や腰に負担がかかる場合は肩ベルト、腰ベルトを調節しなおしてください。

⓭鏡に映して、抱っこの状態を確認してください。
※正しくできていない場合は、もう一度取り付け、調節を行ってください。

腰抱っこの確認

①肩バックルが確実にとまっている
②肩ベルトを調節している
③腰バックルが確実にとまっている
④腰ベルトを調節している

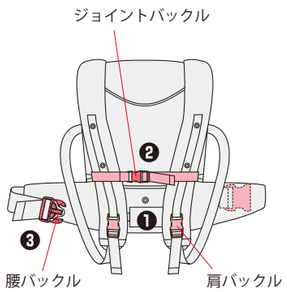


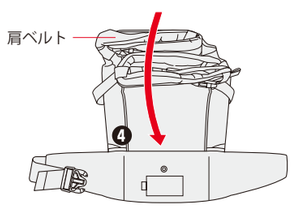
○お子さまを手で支えて使用してください。
○正しくできていない場合は、もう一度取り付け、調節を行ってください。

⚠警告
○鏡に映して、腰抱っこの状態を確認してください。
正しく装着されていないと、お子さまが落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。

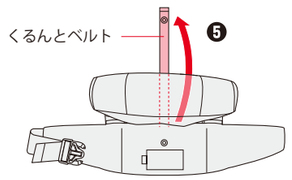
本体の折りたたみ方

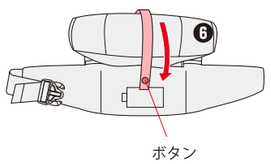
❶肩バックルをとめる。（左右）
❷ジョイントバックルをとめる。
❸腰バックルを外して、子守帯を広げる。
❹左右の肩ベルトをまとめて、折りたたむ。



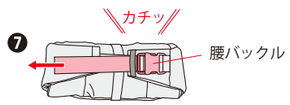


❺腰ベルトからくるんとベルトを引き出す。
❻くるんとベルトを巻き付けホックをとめる。





❼腰バックルをとめて、腰ベルトを調節する。



❻の状態で装着していただくこともできます。

Q&A

Q **おんぶハーネスは子どもの腕の上でとめるべきですか？それとも腕の下でとめるべきでしょうか？**

A お子さまの成長にあわせてどちらでもご使用いただけます。
目安として腰すわり前のお子さまには、おんぶハーネスのバックルを腕の上から、腰すわり後のお子さまには、おんぶハーネスのバックルを腕の下からとめてあげるようにしてください。

Q **タテ抱っこの時、体が埋もれる感じになり、子どもの顔が見えない状態ですが、このまま使用してもいいですか？**

A お子さまの身長に対して背あて部分が長い場合は、お子さまのお尻の下にタオルなどを敷いて、お子さまの高さを調節してあげてください。また、腰ベルトを少し高めのウエストあたりに装着するようにしてください。（11ページ, 19ページ参照）

Q **腰ベルトをどのあたりに装着すればよいですか？**

A 一般にウエストより少し下の、腰骨あたりに装着すると、より負担が軽減されます。お子さまの身長にあわせて、適切な位置に調節してください。

Q **ベルトの余りが長く垂れ下がって気になります。**

A ベルトはゴムでまとめることができます。（8ページ, 10ページ参照）

Q **タテ抱っこの時、子どもの肩が外に出てしまうのですが、大丈夫でしょうか？**

A お子さまの腕が外に出てしまっても、使用上の問題はありません。ただし、特に腰すわり前のお子さまは上半身が不安定ですので、手で支えるようにしてあげてください。

Q **子守帯の生地と子どもの肌が触れる部分が赤くなる時があるのですが…。**

A お子さまの肌に子守帯の跡がついたり、肌がこすれて赤くなる場合は、肌の露出部を覆う服を着せるか、露出部にタオルなどを当てて、子守帯が直接触れないようにしてください。

点検について

○ご使用の前に、バックルなどの部品が破損したり、ベルトや生地などに破れ、ほつれ、きずが無いことを確認してください。
異常がある状態で使用すると、事故につながるおそれがあります。

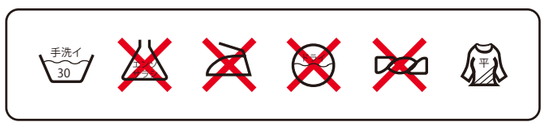
お手入れについて

〈軽度の汚れの場合〉

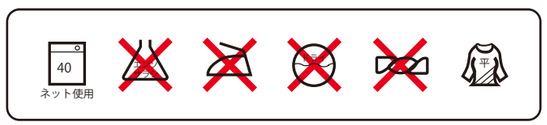
○湿らせた布でたたいて汚れを落としてください。

〈洗濯する場合〉

○本体・よだれパッド



○おやすみカーテン



⚠注意

○本体、よだれパッドは洗濯機、脱水機、乾燥機を使用しないでください。
バックルやファスナーなどの破損につながるおそれがあります。
○よだれパッドを洗濯する時は面ファスナーをとめて手洗いしてください。
○おやすみカーテンの洗濯時は洗濯ネットを使用してください。
○他の物とは別に洗濯してください。色落ちし移染するおそれがあります。
○蛍光剤入りの洗剤を使用しないでください。
○漂白剤を使用しないでください。
○漬け置きしないでください。
○濡れたまま放置しないでください。カビなどが発生するおそれがあります。
○洗濯後、充分乾燥させて使用してください。乾燥が不充分な場合、カビなどが発生するおそれがあります。

SGマーク制度について

SGマーク付き製品は安全性が高く、安心してお使いいただけるものですが、製品安全協会では損害保険会社と生産物賠償責任保険の契約を結んでおり、SGマーク付き製品の欠陥により、人身被害が生じたと認められる場合、事故原因、被害の程度などに応じて、賠償措置を実施します。
ただし、子守帯の場合、ご購入後3年以内の製品が対象となります。

賠償についてのご注意
SGマーク被害者救済制度は、ＳＧマーク付き製品の欠陥によって傷害などの身体的な損害（人的損害）について賠償する制度です。この制度は、SGマーク付き製品そのものが故障した場合に補償するものではなく、また、SGマーク付き製品の欠陥によって他の物に生じた損害（物的損害）を賠償するものではありません。

製品の欠陥によって事故が起きた場合
事故が起きたら、すぐに製品安全協会へ連絡してください。
連絡後、製品安全協会から送付されてくる事故発生届等を提出していただきます。（原則として60日以内）

製品安全協会　〒110-0012　東京都台東区竜泉2－20－2 ミサワホームズ三ノ輪2階
TEL 03－5808－3300

〈事故の届出に必要な項目〉

①事故の原因となったＳＧマーク表示の製品
イ）製品の名前、ＳＧマーク番号　ロ）製品の購入先、購入年月
②事故発生の状況
イ）事故発生年月日　ロ）事故発生場所　ハ）事故発生状況
③被害の状況
イ）被害者の氏名、年令、性別、職業、住所　ロ）被害の状況と程度

保証とアフターサービスについて

○保証期間中（お買い上げ日より１年間です。）に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償にて対応を致します。ただし、部品の色・柄などについては、ご希望に添えない場合があります。また、製造中止後の製品については、対応出来ないこともあります。

アフターサービスについての連絡先

アップリカ・チルドレンズプロダクツ合同会社

〈電話連絡先〉

お客様サポートセンター TEL **0120－415－814**

携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担） **TEL 0570-004-155**

受付時間：AM10 ：00～PM 5：0 0（土、日、祝日、弊社所定休日を除く）

〈製品をお送りいただく場合のみの宛先〉

〒632-0231 奈良県奈良市都祁吐山町2364- 5
アップリカ 奈良サービスセンター ☎(06) 4300-4949

MEMO

MEMO